

第174回日本経営倫理学会・理念哲学研究部会議事録

部会長・宇佐神

日時：2013年2月4日（月） 17:00-19:00

場所：学士会館308号室

出席：西藤、新川、西村、古山、望月、山本、宇佐神

欠席連絡：遠藤、佐藤、長塚、

1. 3月以降の例会日程：

- ① 3月4日（月）17:00-19:00 学士会館308号室
- ② 4月1日（月）17:00-19:00 学士会館308号室
- ③ 5月6日（月・祝）18:00-20:00 学士会館308号室
- ④ 6月3日（月）18:00-20:00 学士会館308号室
- ⑤ 7月1日（月）18:00-20:00 学士会館308号室
- ⑥ 8月5日（月）18:00-20:00 学士会館308号室
- ⑦ 9月2日（月）暑気払い

2. 議事：

- ① 研究発表大会における研究発表者部会推薦について：3月例会で確定の予定  
希望者は、部会長まで出来るだけ早く、発表予定内容を付してお申し出てください。
- ② 「経営倫理の今日的課題」について：今後の取り組みについて（西藤氏より経緯の説明）。  
提言（理念哲学研究部会としての学会創設20周年に向けての提言「部会としての今後の研究取り組み等、部会員の皆様の夢と理想について」）を受け、2月例会にて、日本経営倫理学会が、取り上げるべき、「経営倫理の今日的課題」について意見交換を行い、理念哲学部会としての提言の準備に入ることとしたい。  
西藤氏：倫理の問題への取り組みが学会として後退していないか、これをめぐって次回に文書による問題提起。  
古山氏より：「倫理におけるパティクリズムとユニバーサルリズムをめぐって」発言があり、次回に発表。  
「21世紀の社会と経営の理念」への一環として、続く③と④を位置づけたい。  
また、21世紀における経営者の資質に関し、ウェーバー『職業としての政治』より学び直したい。
- ③ 和辻哲郎『人間の学としての倫理学』（岩波文庫）を20世紀後半の「コミュニタリアニズム（共同体主義）」に繋がるものとして、その今日的意義を再確認したい。発表分担は以下の通り。  
（1）第1章1-5（済）：佐藤、（2）第1章6-11（2月）：新川、（3）第2章12-16（3月）：望月
- ④ 田坂氏の『Invisible Capitalism 目に見えない資本主義』の取り扱いについて。  
次回には本書の目次をもとに発表の担当を確認する予定。

3. 本日の研究発表：

新川：和辻哲郎『人間の学としての倫理学』第1章6-11.

{「人間の学」としての倫理学と Ethics の展開}（メールに添付）と題するペーパーにより、

第1章6節-11節に関し発表があった。

なお、より包括的な理解を目指して、古川、金子両氏の見解を共有すべく、両人の解説を本議事録に添付して送付することとした。これにより理解をさらに深め、共有したい。

休暇で帰国中の西村氏より、河南農業大学での担当や中国事情をお聴きした。

以上